

実施日	視察先	視察項目	備考
7月27日	海上自衛隊 鹿屋航空基地	基地の概要について	
7月28日	鹿児島県 鹿屋市	基地対策及び基地周辺整備 について	

視察先	項目	調査内容
鹿屋航空基地	基地の概要	<p>海上自衛隊鹿屋基地は、鹿児島県鹿屋市に所在し、面積約395ha、隊員数約1,600、滑走路は2本有し、2250mの滑走路に並行して1200mの滑走路が備えられており、配備機種は、固定翼機のP-3Cのほか、回転翼機のTH-135などが配備されている。</p> <p>所在する部隊としては、海上自衛隊の航空集団第1航空群のほか、第22航空群第72航空隊の鹿屋航空分遣隊も所在している。下総基地との関連では、教育航空集団の第211教育航空隊が鹿屋基地に所在している。</p> <p>部隊の主な任務として第1航空群はP-3C型哨戒機により東シナ海及び日本の周辺海域において主として警戒監視の任務を担っており、鹿屋航空分遣隊は、救難機UH-60Jにより航空救難や離島等における急患発生時の輸送等災害派遣に当たっている。鹿児島県には離島が多くあり、夜間や悪天候時の救急搬送も行っている。また、熊本地震発生の際にも出動し、救援活動を行っていた。</p>

鹿屋市	基地対策及び基地周辺整備	<p>鹿屋市は鹿児島県西部、大隅半島の中央に位置し、人口約103,000人、面積448.33km<sup>2</sup>の自治体で、大隅半島の行政・経済・産業の中心であり、温暖な気候と豊かな自然を活かした農業・畜産が盛んである。産業別の人口は、第一次産業が12.6%、第二次産業が17.6%、第三次産業が65.7%となっている。</p> <p>市民の安全・安心な暮らしを確保する取り組みとして、ヘリ騒音の実態を常に把握するための住宅防音工事区域外における騒音観測を実施している。年に2地点を前期と後期に分けて観測しており、観測の結果、加重等価継続感覚騒音基準で、56.9Wから71.5Wまでの航空機騒音が観測されている。苦情については、鹿屋基地関係連絡協議会などの場を通じ、住民から騒音苦情があることを踏まえ、対策を講じてほしい旨を申し入れを行っている。</p> <p>年間約8,000万円から9,000万円ほどの調整交付金を受けており、交付金の充当事業としては、道路整備や排水路整備に加えて、子育て支援基金に毎年充てているのが特徴的である。これは、保育園に子供を預ける世帯に対して、保育料の補助を行うための基金であり、一般財源を加え、鹿屋市では国の基準より23.1%低い保育料を実現している。</p> <p>こうした騒音対策や調整交付金の要望活動については、鹿屋基地関係連絡協議会の住民代表委員によって行われており、騒音問題をはじめとする地域の実情を、国に対</p>
-----	--------------	--

		し地域住民の声で伝えることにより、理解を求め、その対策を講じられるよう基地周辺町内会長による要望活動を行っている。
--	--	---